

## 大和市協働推進会議

### 第1回 行政提案事業 意見交換会

2005年6月30日(木)

@大和市役所会議室棟201・202

2005年度の協働事業提案には11件の市民提案と、4件の行政提案が出されました。

協働事業は、提案から「公開プレゼンテーション」「公開調整」「公開検討会」というプロセスを経て、事業の実現への運びとなりますが、市民提案においては、公開プレゼンテーションから検討会までの間に提案者・大和市の職員・大和市協働推進会議(以下、推進会議)委員の3者で調整が行われることとなります。行政提案においては、多くの市民の皆さんからの意見をいただくために、公開調整を「意見交換会」という場で行うこととなりました。

この意見交換会は、行政提案の市の担当課とその思いに対して、手を挙げてみようとお考えの市民等との間で協働事業の可能性を探る調整を目的としています。

このあと、7月17日(日)には公開検討会が開催され、そこで提案された事業が協働事業に適しているかどうかを検討することになっています。

===== <行政提案意見交換会 スタート> =====

#### 14:00 はじめに

意見交換会の開始です。

推進会議の林委員(前代表)から挨拶がありました。

- ・ 行政提案に対し、市民がどういうことができそうか。どのように取り組めるのか。今年が本格的に始まった記念すべき年になる。
- ・ 意見交換会では、行政と市民が何を話すのか決まったルールはできあがっていない。
- ・ 知恵、時間、労力あるいはお金など、資源を出し合ってそれぞれの事業の成果が上がると思う。
- ・ 行政の提案に対して、市民の思いは違うところがあるだろう。通常の施策の進め方と異なり、市民と一緒に考えようという。新しい可能性を秘

めた取り組みである。

- ・ こうした取り組みは大和市が始めてではないだろうか。
- ・ 忌憚なく、ざっくばらんに意見を交換していただきたい。
- ・ 意見交換会では推進会議委員、事務局ボランティア、大和市市民活動センター運営委員、市民活動課の職員が潤滑油としての役割を担う。

～進行は、玉川まちづくりハウスの伊藤さんによって行われました。

市民活動課の小山さんから、「行政提案」についての説明がありました。

- ・ 協働事業の市からの提案は、条例にも定められている。
- ・ 新しい公共とは、市民のニーズに対応してまちづくりをしていきたいと思いますというもので、市民・市民団体の方々が得意な分野を担って、みんなで協力して進めていく。
- ・ 協働の原則として、一方的に要求するのではなく、お互い対等の立場で、相互理解を深めるものである。
- ・ この意見交換会は「公開調整」の役目を担っており、よりよい協働事業とするためのステップである。



#### 14：15 概要説明

行政の提案者からのプレゼン開始です。

#### 1. 「防犯マニュアル」作成事業 安全なまちづくり課

- ・ 安全なまちづくり課は今年の4月に新設された新しい部署である。
- ・ 大和市は平成15年まで、犯罪発生件数がワースト3であった。
- ・ 自分たちの街は自分たちで守る。
- ・ 既にある防犯マニュアルは一般的な内容である。大和市民のために役立つマニュアル作りをしたい。
- ・ 自主防犯の認識・意識の向上、地域づくりに役立てたい。
- ・ 内容としては「警察官との対談」「被害者インタビュー」など、より実際的なもので、これをネットワークづくりへと発展させたい。

## 2. 道路等環境美化ボランティアの里親制度（アダプト・プログラム）

土木管理課

- ・道路や遊歩道などを養子と見立てて、市民の皆さんと養子縁組をし、市民と市で役割分担を決めて美化に努める。
- ・全国では2004年12月のデータによると、200超の団体が活動している。
- ・合意に基づき、役割分担をし、活動を行う（合意書を取り交わす）。
- ・ごみや草取り、低木の剪定などの協力をしていただき、粗大ごみや損傷箇所の情報提供をしていただく。
- ・市は清掃道具の貸与。ごみの回収。アダプト・サインボードの設置を行う。
- ・地域に関心を持ち、美化活動を推進していきたい。

## 3. ふくしの手 全員集合 福祉総務課

- ・大和市地域福祉計画を地区の社協の方々と話し合った。その結果、人材・拠点・ネットワークが課題として上がった。
- ・何が必要なのか。何ができるのか。話し合いで役割分担をし、協定を結んでさらに検討を進めたい。
- ・人材募集のPR、人材育成のための育成プログラムの検討・開発、イベントを企画していきたい。

## 4. 資源とごみの出し方変更に関する市民説明会協働開発事業 環境総務課

- ・家庭ごみの回収は有料化への方向に向かっている。
- ・分別回収がきちんとできれば、ごみ処理の費用を削減することができる。
- ・市民の皆さんに理解してもらうために、しっかり説明をしなければならない。

### 14：40 提案事業ごとに分かれて7月17日の公開検討会に向けて協働事業提案の調整・計画をたてる

各提案者との調整の時間です。

提案ごとに4つテーブルに分かれ、意見の交換・調整が進められました。



協働事業の対象者と考えられる人や団体、調整事項はポストイットに明記し、公開検討会に向けての調整シートに貼っていました。

公開検討会に向けての調整シート

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;"><b>協働の対象者</b><br/>市民・市民活動団体等を発掘しよう。</p> | <p style="text-align: center;">公開検討会に向けての調整事項</p> |
|  |   |



**それぞれの提案の検討について報告**

公開検討会に向けての調整事項の発表です。

**1. 「防犯マニュアル」作成事業 安全なまちづくり課**

- ・対象となる団体として参加されたのは「つきみ野自治会」「上和田明るいまちづくりの会」
- ・参加した団体から、「ほかのボランティア団体に会えるのを楽しみにしていた」という発言あり（思いのほか、集まりが悪かったということ）
- ・今後「マニュアルありき」という考えではなく、団体が集まって意見交換をすべきではないか。
- ・横のつながりを作って話し合い、その結果マニュアル作りにつながればと思う。



**2. 道路等環境美化ボランティアの里親制度（アダプト・プログラム）**

土木管理課

- ・「二条通り商店街」「つきみ野まちづくり委員会」、大和駅プロムナードで清掃活動を行っている人、ほか本企業2社（本日は参加していない）
- ・清掃道具の貸与ということであるが、団体によっては自ら調達することができる。負担金にはできないのか。（ 財政に要相談）
- ・応募までに時間が間に合わない。団体内での合意に至るまでに時間がかか

る。( 仮受付という形にできるのではないか)

- ・街路樹の里親制度ができないか。( 細かいメニューは検討していきたい)
- ・木に個人名を掲げられないか。( 調査する)



・サインボードにも地域性があるのではないか。( 個別に決める)

- ・確定されたときに細かいことを決めていく。
- ・市民が市の仕組みを理解する契機になる。
- ・収集したごみは有料か?( 多分、無料?)
- ・PRの期間が足りない。( これから検討したい)

### 3. ふくしの手 全員集合 福祉総務課

・「パパボラやまと」、ワーカーズ「想」、敬愛会、「アド・プロジェクト」、「腎友会」

・事業内容に具体性がない。( これから集まってもらった人とともに検討したい)



・人材について、団塊の世代や若者をいかに取り入れるかと言うことがある。

- ・得意な分野を持ち寄る。
- ・一堂に会する場が少ない。( 「ふくしの手」を利用してネットワーク化していきたい)

### 4. 資源とごみの出し方変更に関する市民説明会協働開催事業 環境総務課

- ・対象者として個人の方が2名。
  - ・構成員の募集を早く進めるべき。
  - ・自治会以外に働きかけができないか。
  - ・対象者の発掘に、カーディアンエンジェルスの環境版のようなものがないか。
  - ・市民活動センターに登録している団体や個人に呼びかけ。
  - ・ごみ減量のアイデア提供。
  - ・活動したことに對して還元することはできないか。個人にはLOVESを利用できないだろうか。
  - ・ごみの有料化が議会で議決された後、どんどん進めてもらいたい。
- 「公開検討会」に向けてさまざまな意見が出されました。今後どのように進



めたらいいか、きっかけとなる意見が多く出されています。

これらの対象者として応募を考えている団体や個人からの意見を受けて、調整・検討が進められます。

## まとめ

参加された推進会議委員から、コメントをいただきました。

### 宇津木委員

「行政提案に対して、答えてくれる人がその場にいるというのは早くていい。しかし、行政提案はどのようなプロセスで、どのように進めたらいいのか、市民提案とは異なるために推進会議でルールづくりをしなければいけないのではないか」



### 筑地委員



「『ふくしの手』はテーマが大きすぎてどうしたらいいものか、と考えてしまった。人材の募集や育成に協力していきたいと思った」



### 小林さん（元委員：サポーターズチーム）

「行政提案が出たというのは大変素晴らしい。市民と一緒にやっっていこうという思いがうれしい」

### 内田さん（元委員：サポーターズチーム）



「4つのテーブルのすべてに入りたかった。いい話がたくさん出てきている。

協働事業というのは、民が公の仕事をしようというもの。行政提案は官から民への流れである。これが盛り上がるのはすばらしい。

「つまりはたくさんあると思うが、それを経験していけばいくほどに、いいものができると思う」

### 林委員

「ごみ半減のテーブルについたが、2人しかいなかった。どうやったら人が集められるのか。どうしたら行政提案を市民に伝えられるのか。もっと近くなればいいと思う。

例えば、防犯マニュアルをもとからもう一度考えてみようという意見が出たが、そういうところが、市から提案される協働事業のポイントになるのではないか。一緒に考えれば、知恵も出てくるといういい例になると思う」



最後に市民活動課の小山さんから、応募についての説明がありました。

行政提案は、市民の皆さんに大変関心のあるものばかりであると思います。しかしながら、PR不足でしょうか。思いの外、集まりがよくなかったように感じられたのが残念なことでした。「十分な働きかけ」というものはどういうものか。市民の側からも考えていきたいと思いました。(中島)



## 行政提案事業意見交換会 提案別検討記録

### No. 12 防犯マニュアル

協働の対象者

- ・ つきみ野自治会（防犯対策委員会）
- ・ 上和田明るい街づくりの会
- ・ できるだけ大勢で考えたい。

調整

#### 【まとめ】

- ・ 防犯活動をしている団体にアンケート
- ・ どんなマニュアルが必要かの話し合いの場
- ・ 情報交換を軸にアクションを交えたマニュアルづくり
- ・ マニュアルづくりをきっかけにしてネットワークを作れるような協働事業に！

#### 【意見等】

- ・ マニュアルのイメージは、市民の防犯に関わる啓発につながるもの
- ・ 横のつながりが重要。情報が横に流れない。
- ・ アクションを交えたマニュアル（報告書）づくりもあり得るのでは。
- ・ 短期間で終わらせたくない。
- ・ 情報伝達の仕方などマニュアルにならないか。
- ・ ニュース形式のマニュアルはどうか。



### No. 13 アダプトプログラム

- ・ 協働の対象者
- ・ 大和駅プロムナード：花や清掃をやりたいと思っていた。これからみんなに話をする
- ・ 主要メンバーは了解済み
- ・ 二条通り商店街：これからみんなの合意をとる
- ・ つきみ野まちづくり委員会：細かいところはこれから詰める
- ・ 企業2社：社内手続き中

#### 調整

#### 【まとめ】

- ・ 細部については、協働事業として採択された後、個別に協議する。

#### 【意見】

- ・ 清掃道具の貸与ではなく、負担金をいただけないか。地域によって必要な道具は異なる。  
財政と打ち合わせる。
- ・ 7月8日締め切りは、団体全員の合意をとるのに間に合わない。  
行政提案の手続きが市民提案と同じでよいか。  
仮受付という方法も考えられる。
- ・ 街路樹の里親をイメージしていたが……。掃除美化だけではつまらない。  
植栽マス管理も含むメニューを検討中。街路樹も道路施設の一部
- ・ 樹の里親名を掲げられないか。はげみが出る、楽しい  
個人名が掲げられるか調査する。(団体名がいいんだけど)
- ・ 看板の仕様。地域によって様々。  
協働事業者と協議して決める。
- ・ 協働事業として行うことで、市の行政の仕組みが市民に理解できる契機となる。
- ・ 収集したごみは無料。例月清掃の一環として環境保全課が収集
- ・ 協働事業として行うことは楽しい。いい考えだ。はげみになる。いい気持ちになってできる。
- ・ PR不足。期間：すぐにできるもの、時間がかかるもの

## No. 14 ふくしの手 全員集合

### 協働の対象者

- ・ アド・プロジェクト
- ・ パパボラやまと
- ・ ワーカーズコレクティブ 想
- ・ 敬愛会
- ・ NPO法人大和市腎友会

### 調整

- ・ 福祉を知ろう
- ・ 壁をなくすイベントプログラム
- ・ 「手」はどのレベルか。実際の担い手
- ・ 高齢者、外国籍、家庭婦人の雇用
- ・ 年齢格差
- ・ ワーカーの入れ替えが多い
- ・ ボランティアが根付かない。地理的、物理的
- ・ 実績によるアドバイス、相談、共に考える
- ・ ジュニアシニア制度
- ・ 分野：範囲が広く的を絞りにくい
- ・ 福祉を知るイベント 女性、退職世代をとり入れる
- ・ プログラム作成
- ・ 継続できる場の設定

## No. 15 環境

### 協働の対象者

- ・ 山口さん（拠点運営委員会）
- ・ 林さん（推進会議）
- ・ 小林さん（環境活動）
- ・ 北島さん（提案者＝環境総務課）
- ・ 小山（事務局＝市民活動課）
- ・ 山田さん、梅沢さん（座間市役所）

### 調整

#### 【課題】

- ・ 自治会以外の働きかけ先は？
- ・ 環境関係団体はあまりない
- ・ 協働事業構成員の募集を早く

#### 【対象者発掘 or 働きかけ】

- ・ ガーディアンエンジェルス環境版を結成
- ・ ごみ半減に協力する市民のグループで「はんげんエンジェルス」が登場することを期待したい。
- ・ 市内コミセンなどで予定している説明会のときに募集する
- ・ 市民活動センター登録団体のうち、環境関係のところに再度センターから働きかける。
- ・ 環境だけでなく、団体に所属する個人としては興味のある人がいるかも

#### 【ごみ減量のアイデア】

- ・ 情報提供だけでなく、プラスアルファがないか。
- ・ ごみ処理経費の減額分の一部を活動団体の事業費に報償金として交付する。
- ・ ごみ減量で削減できた予算。頑張っている市民に一部還元される仕組み。
- ・ 半減によるごみ処理予算の年度ごとの新たな削減分の一部を市民活動推進基金に寄付するなど（判りやすい方法）がほしい
- ・ 減量の優秀者にラブスをあげる
- ・ 9月議会が通るかどうかにかわらず必要